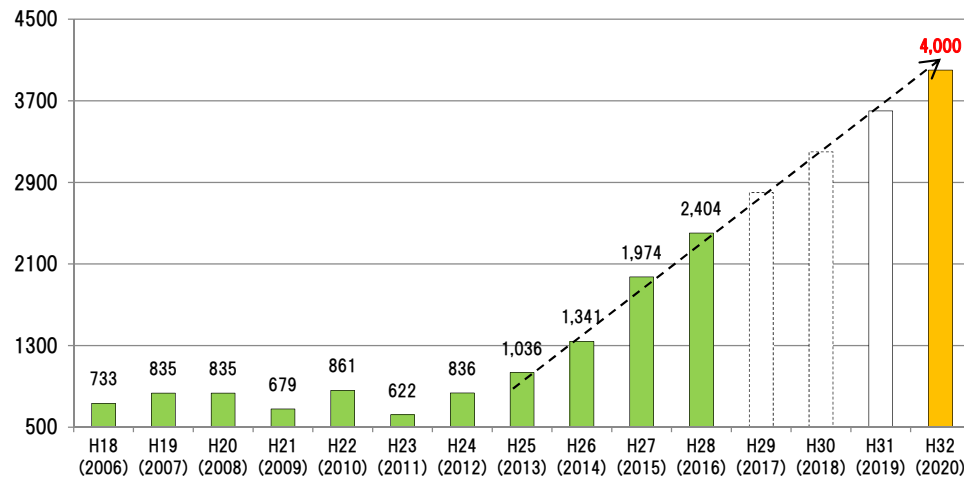


# 「ストップ金密輸」緊急対策

## 背景

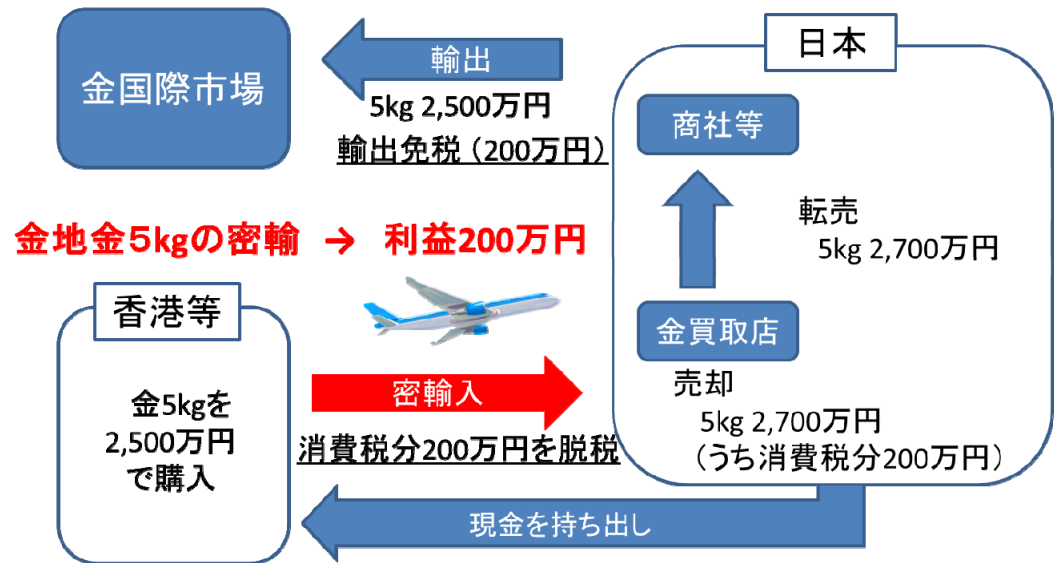
- 増加する旅客、貨物について、迅速で円滑な通関を行う必要。
- 消費税の脱税目的の金地金密輸入の摘発が急増。  
811件、約2.8トン(平成28年) → 976件、約4.5トン(平成29年1-9月)
- 金地金の密輸入を税関が摘発しているのは氷山の一角であり、相当程度の利益が犯罪組織などに流れているおそれ。

訪日外国人旅行者数(単位:万人)



(注)「日本政府観光局(JNTO)」資料に基づき作成。

金地金の密輸によって利益を得る仕組み(例)



金密輸を阻止するための緊急かつ抜本的な対策が必要

# 金地金の密輸摘発事例

## 洋上取引

平成29年5月、門司・長崎・東京・函館税関は、情報に基づき、関係機関と合同で関係者の動静を監視していたところ、漁船に関係者が乗船し長崎県壱岐市の港を出港。

東シナ海の公海上で船籍不明の船舶から金塊を受け取り、佐賀県唐津市の漁港に陸揚げ・密輸入しようとしたところを摘発。関係者8名を逮捕。

摘発した金地金は、約206キロ（約9億3千万円相当）で、脱税額は7千4百万円にもおよぶ。



## 小遣い稼ぎ感覚の安易な犯行

平成28年12月、名古屋税関は、韓国から中部国際空港に到着した女性5名に対する入国時の税関検査において、うち3名の下着内に隠匿されていた金地金約計30kgを発見・摘発。

知人関係にある本邦在住の女性グループにより、小遣い稼ぎ感覚で行われた安易な犯行。常習的に行われていたとの供述がある。

調査の結果、消費税約1千万円を免れようとした同人らを告発。



# 「ストップ金密輸」緊急対策

## 基本的な考え方

- 迅速で円滑な通関を行うとともに、これまでにない広範で厳格な密輸取締り
- 関係省庁と連携した総合的な対策
- 緊急かつ抜本的な対策として早急を実施

## ストップ金密輸

### 第一の柱 検査の強化

- 旅客、商業貨物、国際郵便物、航空機内の検査強化
- 門型金属探知機の新規配備やX線検査装置の拡充による効率的な検査
- 監視艇の活用による洋上取引対策

### 第二の柱 処罰の強化

- 厳正な通告処分の実施
- 告発の増加を目指し、警察、検察、海上保安庁など関係機関との連携強化
- 東京、大阪、門司税関に特別調査チームを編成
- 罰則の強化

### 第三の柱 情報収集・分析の充実

- 関係者や広く国民の皆様からの情報収集(密輸ダイヤルの活用)
- 国内外の関係機関との情報共有・連携強化
- 情報分析力の強化
- 国内流通経路におけるコンプライアンスの確保

## 広報の充実・体制の強化

# 「ストップ金密輸」緊急対策 ～ 第一の柱 検査の強化 ～

## (1) 旅客等への検査の強化

- ✓ 昼夜を問わず柔軟かつ大胆な方法で厳格な検査を徹底的に実施
- ✓ 全旅客に対する金地金の所持の有無の確認の徹底
- ✓ 機器を活用した検査、身辺検査の強化など

## (2) 門型金属探知機の新規導入や X線検査装置の配備拡充

- ✓ 人の流れを止めずに身辺検査を行うことができるように、入国時の税関検査において門型金属探知機を新規導入
- ✓ スーツケース等の荷物などを開けずに迅速な検査を実施するため、X線検査装置を増配備

## (3) キャッシュ・クーリエ対策

- ✓ 関係機関等との連携強化を通じて、携帯品に隠匿された多額の現金等の持出しの厳格な取締りを実施



門型金属探知機の例



# 「ストップ金密輸」緊急対策 ～ 第一の柱 検査の強化 ～

## (4) 商業貨物等の検査の強化

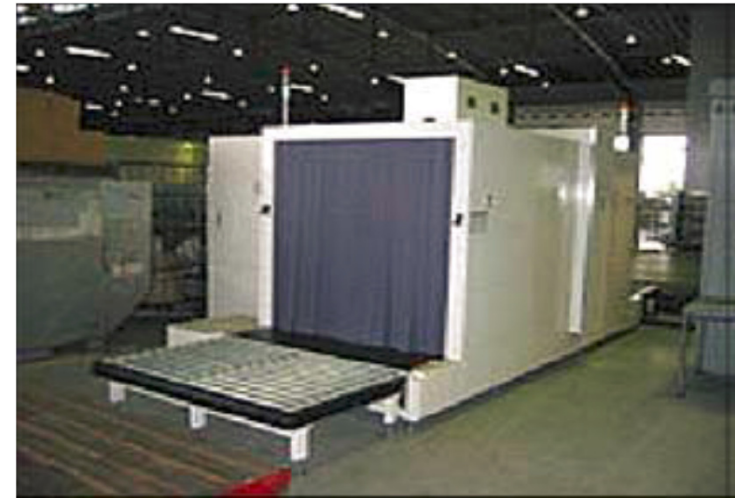
- ✓ 物流の変化に対応しつつ、過去の摘発事例の分析結果等に基づいた厳格な審査の実施
- ✓ 輸送形態の違いを問わず、貨物重量確認、X線検査装置等を活用した厳重な検査を徹底

## (5) 航空機の機内検査の強化

- ✓ 航空会社と協力しつつ、機内の隠匿に使用されるおそれのある場所について検査機器を活用し徹底的かつ厳格な機内検査を実施

## (6) 監視艇の活用による洋上取引等への対応

- ✓ 税関監視艇を、金地金の洋上取引等の監視活動にも投入し、海上保安庁等との連携を図りつつ、海上や離島における取締を強化



X線検査装置



税関監視艇

# 「ストップ金密輸」緊急対策 ～ 第二の柱 処罰の強化 ～

## (1) 厳正な通告処分の実施

- ✓ 「運び屋」の処分にとどまらず、背後にいる関係者を含めた全容を解明し、厳正な通告処分を実施

## (2) 告発の増加(特別調査チームの編成)

- ✓ 都道府県警察や検察庁、海上保安庁等の関係機関との連携により、身柄拘束を含む徹底的な共同調査・捜査を推進し、告発の増加を図る。
- ✓ 事案の広域化・分業化に対応するため、税関を跨いだ密輸事案の調査を専門に行う「特別調査チーム」を東京税関、大阪税関及び門司税関に編成

## (3) 罰則の強化

- ✓ 金地金の密輸者に一層の経済的不利益を与えるとともに、金地金の密輸に対する抑止効果を更に高める観点から、罰則を強化

# 「ストップ金密輸」緊急対策

## ～ 第三の柱 情報収集及び分析の充実 ～

### (1) 情報収集・連携強化

- ✓ 関係者等からの情報収集や関連取締機関との情報交換を促進し、金地金密輸の摘発増加や組織的な密輸の解明に繋げる。
  - ✓ 関係者等からの情報収集： 密輸ダイヤル(0120-461-961)による情報収集強化
  - ✓ 海外税関： 税関相互支援協定を活用した、諸外国税関との積極的な情報交換
  - ✓ 国税庁： 金地金に係る適切な課税のため、相互協力と情報交換の実施
  - ✓ 警察、海保： 金地金の密輸を巡る情勢等の共有と個別事犯についての情報交換の実施
  - ✓ 入国管理局： 金地金の密輸の水際阻止のため、情報交換と連携強化

### (2) 情報分析力の強化

- ✓ 乗客予約記録などの事前情報を活用した分析・事前選定による効果的・効率的な取締りの実施
- ✓ 関係機関から入手した情報などの分析による摘発の増加

### (3) 国内流通におけるコンプライアンスの確保

- ✓ 密輸された金地金が安易に国内で売却されることのないようにすることが極めて重要
- ✓ 金地金の流通に携わる業界にコンプライアンス確保に向けた自主的な取組みを強く期待
- ✓ 経済産業省とも連携を図りつつ、輸出入申告を起点とした金地金の流通に着目した、商社等へのヒアリングによる、金地金の流通経路に関する情報収集

# 「ストップ金密輸」緊急対策 ～ その他 ～

## (1) 広報の充実

- ✓ 国内居住者・海外居住者を問わず、一般の方が運び屋となることの防止を図るため、金密輸に関する注意喚起の広報を多言語で実施

## (2) 体制の強化

- ✓ 財務省関税局内に金密輸対策のためのタスクフォースを新設し、各税関への指示・調整を実施
- ✓ 税関を跨いだ金密輸事犯の調査を専門に行う「特別調査チーム」を編成(再掲)
- ✓ 旅客や貨物の検査を担当する職員などの増員及び門型金属探知機等の検査機器の経費を要求(平成30年度要求中)

